



工大一12連覇

レスリング
八戸市選抜
団体リーグ戦

工大一 7-0 八戸市選抜
青森商 7-0 八戸市選抜
工大一 5-2 青森商
▽選抜成績(工大一) 2勝1敗
小田島 久保 渡辺 吉田 勇 勝

久々全階級 選手を配置

〇三校がリーグ戦で争ったレスリング男子団体は、工大一が堂々の12大会連続Vを飾った。チームとして久々に全7階級へ選手を配置し、手堅い布陣で主座を守り抜いた。

選手不在の階級は不戦敗となる団体戦。工大一は近年、階級が全て埋まらぬままリーグ戦を制してきたが、昨年は青森商に4-3まで追られる一幕もあった。

今季は7階級の2年明石颯矢を昨年同様6階級に置き、さらに1年吉田将悠が1つ5階級に加わったことで、「不戦敗なく全勝できる」(大館信也監督)態勢が整った。

八学光景戦では全勝を達成。青森商と小田島魁星、堀口航太郎が激闘

の未惜敗したもの、久保音晴、篠原志成ら5人が快勝。主将の吉田海人も若々とポイントを重ね、開始1分半でテクニカルスベリオリティ勝ちを取った。

ただ、インターハイの時期に一部選手は海外遠征で不在に。大館監督は「次の本番までに、残るメンバーでさらに実力をつけなければ」と激励。吉田海は「これまでの経験を糧に、もっと勝ち上がりたい」と成長を誓った。